

ジョリパット650シリーズ
くちなし仕上げ
施工の手引き

平成12年7月作成

アイカ工業株式会社

化成品開発第二部

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジヨリパットシーラー JS-410	塩化ゴム系 1液型溶剤透明シーラー	15kg石油缶	75~100㎡/缶
主 材	ジヨリパット650シリーズ 標準色 JP-650 JP-650T (...数字) 特注色 JP-650 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^ℓ -缶	約 7㎡/缶

< 主な施工道具 >

- ・ リシンガン(口径 4~6mm)
- ・ マスチックローラー(ジヨリパットローラーJR-20:9インチ)又は、
金ゴテ
- ・ くちなしローラー(ジヨリパットローラーJR-31:7インチ)
- ・ コンプレッサー(3馬力以上:1台使用の場合)

下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

<くちなし仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	JP-650シーズ [*]	20kg
	清 水	3~4割
塗布量	約1.0kg/m ²	
吹圧力	5~7kgf/cm ²	
使用ガン	リシンガン口径 4~6mm	

左官業者の場合は、ジョリパットを無希釈で
1.0kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布
する。(下ごすり)

夏期 4時間以上、冬期12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

- <塗装業者の場合>
- ・マスタックローラーにてジョリパットが約2kg/m²となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)
- <左官業者の場合>
- ・金ゴテにてジョリパットが約2kg/m²となるよう均一に配り塗りする。

追いかけ(5分以内)

4. パターン付け

- ・配り塗りしたジョリパットが乾燥しないうちに、くちなしローラーJR-31を上下左右に軽く転がし、細かい波模様をつける。
- ・ローラーに力を加えず回転が均一になるように転がす。ローラーに付着したジョリパットは、その都度、きれいに取り除く。(図-1)

5. ヘッドカット

追いかけ (5分以内)

- ・ 灯油を浸したカットローラーJR-26、27でジョリパットの凸部を軽く押さえる。

< 施工のポイント >

- ・ くちなしローラーJR-31を十字に転がす。ローラーは、軽く転がし、回転するようにしてパターン付けする。
(図 - 1)
- ・ 配り塗りは、塗布量が均一になるように行なう。(塗布量が異なると波の立ち方がバラツキ、パターンが汚くなる。)

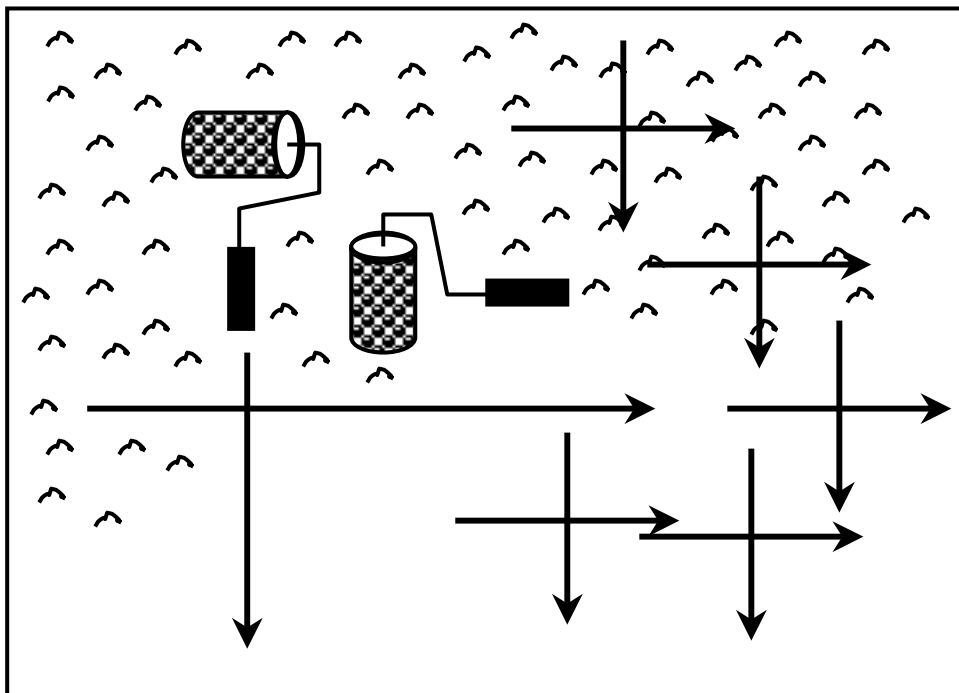
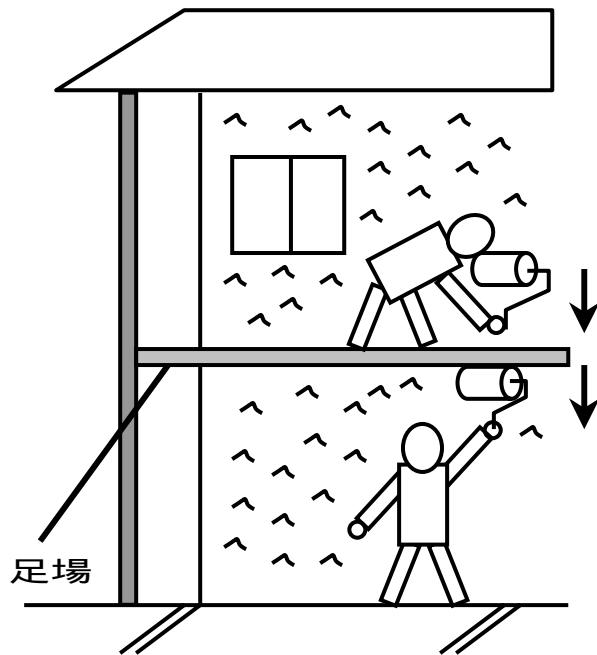


図 - 1

< 施工の注意事項 >



足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2～3人で組んで施工して下さい。ジョリパットの表面が乾燥して皮がはる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図 - 2

- ・ 大面積を施工する場合、ジョリパットの表面が皮ばりした後にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地をとるよう工夫する。(図 - 3)

(例)

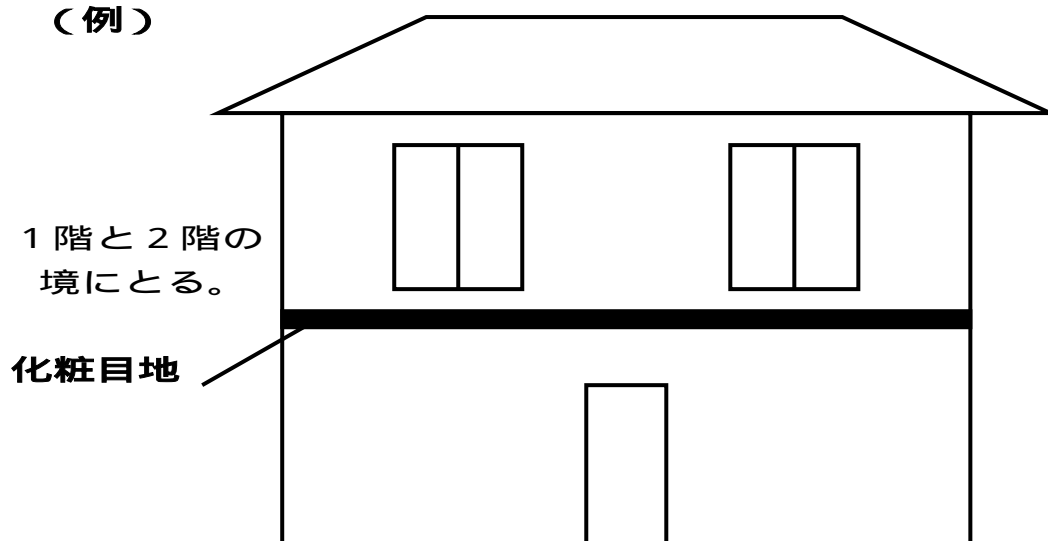


図 - 3

- ・ くちなしローラーJR-31の目がジョリパットで詰まらないよう、コテ板などの上でローラーを回転させながらジョリパットを取り除く。(目が詰まると模様が出にくくなります。)
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)

**塗板見本は、すべてコテ配りで作成しています。
施工現場においてローラーで配る場合は、塗板見本と
仕上がりが若干異なりますので注意して下さい。**

以 上